

看護職を新しい時代の保健医療課題にチャレンジさせていただけるようご指導・ご支援下さい。



沖縄県立看護大学 学長  
野口 美和子 先生

PROFILE

- 昭和35年 3月 東京大学医学部衛生保健学科卒業
- 昭和35年 4月 国立名古屋病院看護婦
- 昭和47年 9月 神奈川県立衛生短期大学講師
- 昭和54年 4月 千葉大学看護学部助教授
- 昭和62年12月 保健学博士学位取得（東京大学）
- 平成 3年 4月 千葉大学看護学部教授
- 平成 9年 4月 千葉大学看護学部学部長（併任）  
千葉大学大学院看護学研究科長（併任）
- 平成 9年11月 千葉大学看護学部附属  
看護実践研究センター長（併任）
- 平成14年 4月 自治医科大学看護学部学部長
- 平成19年 4月 沖縄県立看護大学学長 現在に至る

今月のインタビューコーナーは今年4月から県立看護大学学長に就任されました野口美和子学長です。

**Q1. まず、野口学長の自己紹介をお願いします。**

本年4月に学長に就任致しました。私は国立病院の看護婦を3年余りした後、看護教育にたずさわってきました。看護学校の専任教員、看護短期大学の講師、そして千葉大学では学部長、研究科長をさせていただきました。そして、学部長として自治医科大学に看護学部を完成させて平成18年4月に退官していました。栃木で主人の農業を手伝いながら、看護教育に携われたことのまとめをしたいと思っていましたが、もう一度最後の仕事をさせていただくことになりました。私は沖縄県立看護大学の設置のための構想委員の一人でもありましたから、大学の皆様に学長として選んでいただいたからには、喜んで力一杯務めたいと思っています。

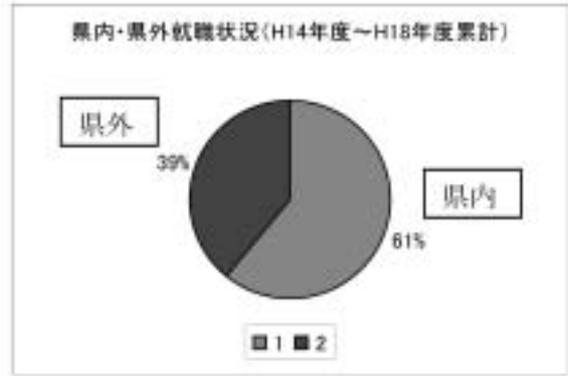
**Q2. 県立看護大学は平成11年4月の開学となっておりますが、大学をご紹介いただけますでしょうか。**

大学の教育理念は、生命の尊厳を重視し、豊かな人間性を養い、多様化・国際化の進む社会で幅広い視野から、看護を科学的に実践できる看護職者を育成し、人々の健康と福祉および学

術的に貢献することであります。保健医療福祉の分野において県民の期待に応えうる、質の高い看護職者の育成を図り、同時に看護の教育、研究及び実践の中核的機関として看護実践および学術的發展に寄与することが本学の使命です。平成16年度には社会的ニーズに応えるため、本学に大学院保健看護学研究科（博士前期課程、博士後期課程）が設立されました。卒業後看護を実践する中で得た研究課題を持って大学院で学び、看護領域の指導者、教育・研究者への道も拓かれています。さらに平成19年3月、独立行政法人大学評価・学位授与機構より本学は大学評価基準を満たしていると認定されました。

Q3. これまで約400名が卒業されましたが、卒業生の進路がどうなっているのか教えてください。

県立大学の運営委員・協議会の委員等をしておりました関係で、沢山の県立大学を見て参りましたが、現在本学は県内就職が多い大学であると思います。下記データをご参考にして下さい。



### 沖縄県立看護大学進路状況一覧

(平成14年度)

		計	県内	県外
就職		65名	41名 63.1%	24名 36.9%
	看護師	45名	24名	21名
	保健師	11名	11名	名
	助産師	7名	4名	3名
	養護教諭	2名	2名	名
	その他	名	名	名
進学		5名	1名	4名
未定		1名	—	—
計		71名	42名	28名

(平成15年度)

		計	県内	県外
就職		75名	46名 61.3%	29名 38.7%
	看護師	63名	36名	27名
	保健師	3名	3名	名
	助産師	4名	2名	2名
	養護教諭	2名	2名	名
	その他	3名	3名	名
進学		5名	3名	2名
未定		名	—	—
計		80名	49名	31名

(平成16年度)

		計	県内	県外
就職		77名	47名 61.0%	30名 39.0%
	看護師	58名	32名	26名
	保健師	5名	5名	名
	助産師	7名	3名	4名
	養護教諭	4名	4名	名
	その他	3名	3名	名
進学		2名	2名	名
未定		名	—	—
計		79名	49名	30名

(平成17年度)

		計	県内	県外
就職		73名	38名 52.1%	35名 47.9%
	看護師	60名	28名	32名
	保健師	6名	6名	名
	助産師	5名	2名	3名
	養護教諭	1名	1名	名
	その他	1名	1名	名
進学		7名	4名	3名
未定		名	—	—
計		80名	42名	38名

(平成18年度)

		計	県内	県外
就職		74名	49名 66.2%	25名 33.8%
	看護師	58名	37名	21名
	保健師	5名	5名	名
	助産師	10名	6名	4名
	養護教諭	1名	1名	名
	その他	名	名	名
進学		4名	2名	2名
未定		1名	—	—
計		79名	51名	27名

(累計)

		計	県内	県外
就職		364名	221名 60.7%	143名 39.3%
	看護師	284名	157名	127名
	保健師	30名	30名	名
	助産師	33名	17名	16名
	養護教諭	10名	10名	名
	その他	7名	7名	名
進学		23名	12名	11名
未定		2名	—	—
計		389名	233名	154名

\*卒業時点の人数です。

**Q4.** 現在、県内では看護師が約700名、助産師が約100名不足との調査がありますが、どのようにお考えでしょうか。特に助産師不足は深刻で、8月には県医師会、産婦人科医会、助産師会、看護協会が県立看護大学に助産学別科の設置要請を行いました。どのような状況をお聞かせいただけますでしょうか。

県立看護大学ですから、この看護師不足・助産師不足への対応は第1に取り組むべき課題だと考えています。助産師については開学前20名の育成を行っていましたが、開学後は4年間の教育の中で保健師・看護師の国家試験受験資格に加えて助産師の国家試験受験資格を取ることがとても困難で、4～10名の学生のみが夏休みを返上し、実習をしてやっと国家試験受験資格が取れる状況でした。助産師会・医師会の皆様のおおしで、財政厳しい沖縄県が英断して下さったお陰で、別科助産専攻の来春開設に向け準備に入らせていただいています。

看護師の不足に対しては、まずは卒業生の県内就職とりわけ離島へもすすんで就任できるように教育することです。県内をまわってみますと卒業生がとても元気で、離島などでも意欲を持って働いていますので、是非これまでの教育方針にそって、より実践的・離島の看護教育を強化したいと考えています。加えて大学院や公開講座等で看護のリーダーの育成につとめ、看護職をとりまく職場環境をやりがいがあるものにする事で、離職防止、キャリア開発に貢献したいと考えています。

**Q5.** 来年度から特定健診・特定保健指導が始まりますが、これに伴って保健師の需要が増え、保健師も不足すると思われ、また、来年度から認可保育園への看護師の配置が予定され、益々看護師不足に拍車がかかると思われます。県医師会としては第一線で働くより多くの看護師、助産師の養成を期待しております。県立看護大学から県医師会に対するご要望がございましたらお聞かせ下さい。

おっしゃるとおりです。県民の保健医療に直接責任を持つ第一線の医療機関や医師会の皆さんには新しい医療活動の創出とその経営が求められている時代だと思います。是非、看護師・保健師にその新しい活動の創出と経営に参加させていただきたいと思っています。看護教育は時代の要請を受けて進歩しています。特に保健医療の在宅化に看護基礎教育は対応してきました。また看護職の生涯教育も強力に推進されています。日本看護協会では認定看護師・専門看護師の育成制度を確立しています。特に大学での看護教育は、保健師・看護師一部助産師の看護三職の基礎教育として総合看護の理念により教育をしていますので、新しい活動の創出や経営に意欲的に取り組むよう動機付けされていると思います。看護職を新しい時代の保健医療課題にチャレンジさせていただけるようご指導・ご支援下さい。その場合、卒業生や現場の看護職が知りたい事、解決したい問題に直面したとき、また医師会の皆様が看護職に勉強して欲しいということがありましたら、看護大学は県内の看護職の「知の拠点」としてこれを引き受け、教育プログラム等を提供する義務があると考えています。その為に地域交流室を設けました。よろしくお願い致します。

**Q6.** 沖縄の生活はいかがでしょう。また、休日はどのようにお過ごしでしょうか。

沖縄は大好きです。暑さもOKでした。休日1回は、栃木県に住む主人の農作業を手伝いますが、他はできるだけ離島をまわりたいと思っています。先週は与那国に行ってきました。台風12号の洗礼を受け、離島の美しさときびしさを味わいました。

本日はお忙しい中インタビューにお答えいただき、ありがとうございます。今後ともご指導、ご協力をお願いいたします。

インタビューアー：広報担当副理事 野原 薫